

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県港南警察署協議会
日時	令和5年5月29日（月）午後1時30分から午後3時40分までの間
場所	神奈川県港南警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側            会長 塩田良英 副会長 笠原靖幸 委員 荻久保源司 委員 春日尚子            委員 長谷川新 委員 笠原一 委員 根本慶次 委員 磯田巧            委員 齊藤陽子 委員 渡邊地津子 委員 高橋 功 計11人</p> <p>2 警察署側            署長 村野英明 地域担当次長 浦口和人 警務課長 富樫肅 生活安全課長 和田史            刑事課長 石井信晴 警備課長 石川和人 地域第三課長 本村雅之            留置管理課長 田邊淳一郎 会計課長 重田泰彦 計9人</p>
議事要旨	<p>警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明</p> <p>「若手警察官の交通事故防止方策について」の答申を受けて</p> <p>1 若手警察官の車離れが進む中、車・バイクの仕組みや点検方法等の知識や事故の怖さの意識を浸透させる教養指導を実施してはどうか。            ○知識を取得させる教養（二輪車の特性・制動距離等の教養）を実施した。            ○事故の怖さ等の意識を浸透させる教養指導（事故発生時のドライブレコーダー映像を用いた教養）を実施した。</p> <p>2 白バイ隊員や交通機動隊、その他の運転のプロによる訓練指導を実施してはどうか。また訓練回数や運転頻度を高める方策を実施してはどうか。            ○管内にある施設を借り、元試験官の交通課員を指導員として運転訓練を実施した。            ○若手警察官の直属の上司による指導・教養を実施した。</p> <p>3 実際に警らコースを歩いてみるなどして、危険箇所等をチェックして教養指導に活かしてはどうか。            ○地域課員の協力により「港南区危険箇所マップ」を作成した。マップを基に執務資料を発出し、教養を実施した。</p> <p>諮問</p> <p>港南警察署における風水害対策について</p> <p>答申</p> <p>○ 警察署が被災した場合に備え、パトカーの駐車場所や、電源を確保するなど事前の備えを万全にして欲しい。            ○ 治安のプロであり、地域住民との架け橋である警察と行政が連携してハザードマップを作成して欲しい。            ○ 横浜市と建設業界等で協定を結んでいるが、そこに警察も参加し、重機等を搬送する際円滑に搬送できる対策をして欲しい。            ○ 横浜市は防災無線がないので、パトカーのスピーカー等で情報発信をして欲しい。</p> <p>業務説明</p> <p>前四半期（令和5年1月から3月まで）の業務推進結果及び今四半期（令和5年4月から6月まで）の業務推進重点について、資料を事前配布し説明を行なった。</p> <p>警察署協議会からの要望・意見</p> <p>アクティブ交番の開設場所については、地域住民の要望や需要を考慮してほしい。</p>